

【問い合わせ先】

第十管区海上保安本部 海洋情報部
監理課長 木之瀬 樹
TEL 099-250-9800 (内線 2510)



平成28年6月15日
第十管区海上保安本部

「第145回水路記念日記念講演会」

～生きている南九州の海～

第十管区海上保安本部では、第145回水路記念日を記念して「生きている南九州の海」をテーマに講演会を開催します。

1. 開催日時

平成28年8月28日（日）午後2時～午後5時（受付開始午後1時10分）

2. 開催場所

鹿児島商工会議所ビル（アイムビル）4階アイムホール
鹿児島市東千石町1番38号

3. 入場料等

無料、定員180名（先着順）

4. 講演会概要

本講演会は、二部構成（一般講演、特別講演）となっており、後半の特別講演（午後3時50分から午後4時50分）では「南九州に関わる地震と津波の話」と題して、公益法人深田地質研究所客員研究員である都司 嘉宣（つじ よしのぶ）先生に講演して頂きます。

今回の熊本地震で活断層が引き起こす地震にも注目が集まっていることから、安永年間の桜島噴火に伴う鹿児島湾の津波、宝永地震（1707年）による種子島の津波、平成28年と明治22年の2回の熊本地震の類似点などについて講演していただく予定です。

5. 申込方法

お申し込みは、電話で「氏名、電話番号、参加人数」をお知らせください。

申 込 先：第十管区海上保安本部 海洋情報部

代表電話：099-250-9800（内線2511・2513）担当：中 釜

受付時間：月～金（休日を除く）午前9時～午後5時まで

申込締切：8月12日（金）午後5時

※申込先着順で、定員になり次第、受付を終了いたしますので、ご了承ください。

6. 鹿児島商工会議所ビル（アイムビル）案内地図



鹿児島市電 天文館通電停から徒歩3分・高見馬場電停から徒歩5分
自家用車ご利用の場合地下駐車場があります（料金30分160円）

※ 無料駐車場の用意はありません、上記地下駐車場も数が限られておりますので、
ご来場の際は公共交通機関のご利用をお願いいたします。

7. 備考

主催：第十管区海上保安本部

共催：一般財団法人日本水路協会

特別講演者及び水路記念日については【別紙】を参照下さい。

詳細については、定例記者会見で発表します。

特別講演者のご紹介

都司 嘉宣（つじ よしのぶ）氏

現 職

公益財団法人深田地質研究所客員研究員
建築研究所特別客員研究員
防災科学技術研究所客員研究員

プロフィール

1947年 奈良県生まれ
1970年 東京大学工学部土木工学科卒業
1972年 東京大学大学院理学系研究科修士課程（地球物理学専攻）修了
1982年 理学博士（東京大学）
1986年 東京大学地震研究所助教授
2011年 東京大学地震研究所地震災害科学部門准教授
2012年3月31日 東京大学を定年退職

海上保安庁関係

2008年 長官表彰（長年、海上保安庁の津波防災情報図検討会委員として指導及び情報提供の功績に対して）

現在、津波防災情報図検討委員会委員長

筆 書

「知ってそなえよう！地震と津波
ナマズ博士が教えるしくみとこわさ」（素朴社 2007年）
「富士山の噴火 ― 万葉集から現代まで」（築地書館 1992年）
「千年震災」（ダイヤモンド社 2011年）

水路記念日

海図を作製するための水路業務は、明治4年（西暦1871年）に始まり今年で、145年目を迎えます。

明治4年7月28日（旧暦）兵部省海軍部に水路局（後の水路部）が置かれ、ここに、当時わが国で緊急課題であった、船舶の安全を図るための海図を作製する組織が発足しました。

昭和46年（1971年）の創立100年に、旧暦7月28日を太陽暦に換算した9月12日が創立の日とされ、以後、この日を水路記念日としています。

当時の実務は、勝海舟らとともに長崎海軍伝習所においてオランダ式の航海・測量術を学んだ津藩出身の柳楯悦（やなぎ ならよし）少佐〔初代水路部長〕を中心として、東京築地の海軍兵学寮（後の兵学校）の一室で現在の海洋情報業務の基礎がスタートし、日本人による近代的な海図作りが精力的に開始されました。

その後、平成14年に組織名を水路部から海洋情報部に改めています。